

分子研研究会

「有機ディラック電子系におけるトポロジカル現象と新奇物性開拓」

Topological physics and organic massless Dirac systems

8月8日

- 13:00-13:10 はじめに
田嶋尚也(東邦大理)
- 13:10-13:30 α -(BETS)₂I₃と α -(BEDT-STF)₂I₃の輸送特性
田嶋尚也(東邦大理)
- 13:30-13:50 α -D₂I₃ (D=ET,STF,BETS)の精密解析による構造物性研究
鬼頭俊介(名大工)
- 13:50-14:10 第一原理計算による α -(BETS)₂I₃の構造と電子状態
圓谷貴夫(熊本大先導)
- 14:10-14:30 α -(BETS)₂I₃の¹³C NMR
藤山茂樹(理研)
- 14:30-14:50 α -(STF)₂I₃の構造と物性
内藤俊雄(愛媛大理)
- 14:50-15:20 ディラック・ワイル・トポロジカル物質の軌道電流に起因する核磁気緩和率
前橋英明(東大理)
- 15:20-15:40 休憩
- 15:40-16:05 単一成分分子性結晶におけるノーダルライン半金属
加藤礼三(理研)
- 16:05-16:25 分子性導体のディラック電子系における電気伝導度
鈴木順三(名大理)
- 16:25-16:50 ノーダルライン状態の帯磁率
小形正男(東大理)
- 16:50-17:10 常圧 massless Dirac 電子系候補物質の NMR 研究
関根孝彦(東大工)
- 17:10-17:30 有機導体 α -(BEDT-TTF)₂I₃における電子相関効果と温度圧力相図
田中康寛(早稲田理工)
- 17:30-17:50 有機ディラック系物質における軌道反磁性の観測
鴻池貴子(物材機構)
- 18:30- 意見交換会

8月9日

- 9:30-9:55 Excitonic 相としての電荷秩序
福山秀敏(東理大)
- 9:55-10:25 強相関係励起子絶縁体の電子状態とスピン軌道相互作用の効果
石原純夫(東北大理)
- 10:25-10:45 Ta₂NiSe₅における光誘起エキシトニック絶縁体-金属相転移
宮本辰也(東大新領域)
- 10:45-11:05 休憩
- 11:05-11:25 励起子絶縁体 Ta₂NiSe₅ の輸送現象
中埜彰俊(名大理)
- 11:25-11:55 Ta₂NiSe₅ のエキシトニック相と光誘起半金属相
溝川貴司(早稲田理工)
- 11:55-13:15 昼食
- 13:15-13:45 有機ディラック電子系におけるスピン-軌道相互作用と電子相関効果
森成隆夫(京大人環)
- 13:45-14:05 有機ディラック電子系 α -(BEDT-TTF)₂I₃における非一様電荷秩序と輸送現象
大木大悟(名大理)
- 14:05-14:35 第一原理手法を用いたトポロジカル物性と物質開拓
平山元昭(理研 CEMS)
- 14:35-14:55 An old compound: is it a new candidate for Dirac electrons in organics?
Woun Kang(梨花大)
- 14:55-15:15 休憩
- 15:15-15:45 強相関ディラック電子系における量子相転移の臨界性
大塚雄一(理研 RCCS)
- 15:45-16:15 スピン軌道固体の g 因子とトポロジー:ディラック電子を超えて
伏屋雄紀(電通大)
- 16:15-16:35 τ 型有機導体におけるディラック電子とトポロジカルギャップ
長田俊人(東大物性研)
- 16:35-16:45 有機ディラック電子系研究概観
澤 博(名大工)

8月10日

- 9:30-11:50 所内・所外教員の意見交換会